

保険だより**— 必 読 —**

京都府老人医療給付制度(老 41) の見直しについて — 4 月 1 日から —

高齢受給者（70～74 歳、現役並み所得者を除く）の医療費窓口負担は、国の一部負担金等軽減特例措置の廃止により、平成 26 年 4 月 2 日以降に 70 歳になった方から段階的に 2 割に移行しています（平成 26 年 3 月 1 日京都医報保険だより参照）。

これを受けて、平成 27 年度より京都府老人医療給付制度（対象：65～69 歳の低所得者・独居老人等）（老 41）についても、高齢受給者に合わせる形で、自己負担割合を 1 割から 2 割に引上げるなどの見直しが行われる予定ですので、お知らせします。

記**1. 変更点**

平成 27 年 4 月から自己負担割合を 2 割に引上げるとともに、平成 27 年 8 月から所得制限を見直し、低所得者層（所得税非課税世帯）への扶助を主眼とする。

	現行制度	見直し内容
自己負担割合	1 割（←国 3 割）	2 割（←国 3 割） 4 月 1 日より適用
所得制限	特別世帯：老齢福祉年金	所得税非課税に一本化 8 月 1 日より適用 (※ 経過措置あり)
	一般世帯：所得税非課税	
事業主体	市 町 村	同 左

※現行制度受給対象年齢者（H27. 7. 31 までに満 65 歳に達する者）については、満 70 歳に達するまでの間、現行所得制限を適用。

2. 医療機関窓口における注意点

- ・新証は 3 月中に対象者に対して交付されるが、市町村によっては旧証の回収が完全に行えない可能性があるため、自己負担割合が変わっていることに十分注意すること。
- ・新証の有効期間は平成 27 年 4 月 1 日から平成 27 年 7 月 31 日までとなる。従来どおり、8 月に前年の所得に基づく証が新たに交付されることになるので、8 月の初回受診時には特に証の確認が重要である。

3. 備考

平成 26 年度に実施された「前期高齢者医療制度と京都府老人医療給付制度（老 41）の窓口負担に係る特例措置」（平成 26 年 3 月 1 日京都医報保険だより参照）は、平成 27 年 3 月をもって終了する。

**3 月度請求書（2 月診療分）
提 出 期 限**

- ▷基金 10日(火)
午後5時まで
- ▷国保 10日(火)
午後5時まで
- ▷労災 10日(火)
午後5時まで

☆提出期限にかかわらず、
お早めにご提出ください。
☆保険だより9月15日号に半
年分の基金・国保の提出期
限を掲載していますので併
せてご参照ください。

受給者証 見本

福		福祉医療費受給者証						老		
		負担者番号		4	1	2	6			
公費負担医療 の受給者番号										
受 給 者	居住地	見本								
	氏 名									
	生年月日	昭和 年 月 日								男・女
一部負担金 の割合		2 割								
有効期間		平成 27 年 4 月 1 日から								
		平成 27 年 7 月 31 日まで								
発行機関名 及び 印										
交付年月日		平成 年 月 日								
		この証は、京都府以外では使用できません。								

※ 8 月証更新：平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日